

# 『授業連携報告書』

学校名	四日市市立富洲原小学校				
授業のテーマ	プログラミング教室(スクラッチ)				
目標(授業連携をした目的等)	プログラミングを使用して、PC上の人工衛星を動かすことができる。				
実施対象	学年	5年生	3	クラス	合計 91 名
授業科目	総合学習	科目「その他」の場合記入)			
単元	プログラミング	授業日	11	月	5.6 日
授業連携の前後の授業内容について					
前	スクラッチの操作に慣れさせる。				
後	人工衛星をより細かく動かすことができるプログラミングを書く。				
時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動		
導入 25 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAXAの話聞く。</li> <li>・本時の学習内容を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAXAの話真剣に聞いていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童にとって難しい言葉の意味の説明。</li> </ul>		
展開 60 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクラッチを使用して、プログラムを書く。</li> <li>・スクラッチの基本操作に慣れる。</li> <li>・人工衛星を動かすためのプログラムを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明された手順を真剣に聞いていた。</li> <li>・楽しそうにプログラムを書いていた。</li> <li>・実際に動いた児童はとてうれしそうだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCの操作が難しい児童への補助。</li> </ul>		
まとめ 5 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に動いたかの確認をする。</li> <li>・自分たちの作品を保存する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人工衛星を指示通りに動かすことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存方法の指示。</li> </ul>		

## 授業連携の感想・メモ

児童は興味津々でJAXAの話聞いていた。また、自分たちが書いたプログラミングで、人工衛星が上手く動くかどうか、児童たちは楽しそうに操作していた。

## 授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
JAXAの話聞いて、宇宙関連の仕事に興味を持った児童がいた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	